

巡視船の緊急整備

1. 背景

- 昭和50年代に整備された巡視船艇・航空機の老朽・旧式化により、海上保安庁が行う犯罪取締りや救助活動に支障
- 海洋権益の保全等の新たな業務課題に対応するため、高性能化を図った巡視船艇・航空機等の整備が急務

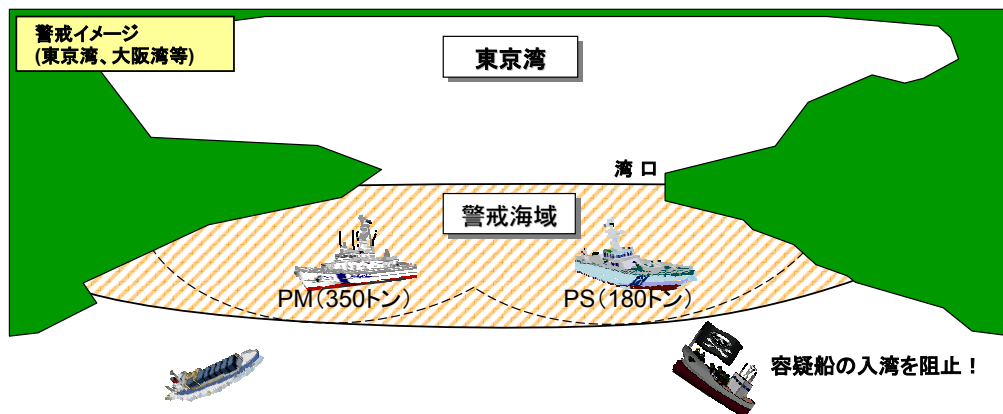
新たな課題

海洋権益の保全

大規模災害等における救助体制の強化



沿岸水域の洋上警戒体制の構築



2. 復活要求の内容

テロ警戒のため、洋上監視体制を強化する必要がある東京湾や大阪湾において、常時配備に不可欠な巡視船5隻を整備するために必要な経費。

350トン型巡視船 3隻
180トン型巡視船 2隻

所要額 38億円